



Title	井戸さんのように社会貢献をめざして
Author(s)	田中, 義則
Citation	井戸武實の歩みと追悼集. 2025, p. 29-30
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/100731
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

井戸さんのように社会貢献をめざして

田中 義則

元認定 NPO 法人 釜ヶ崎支援機構
株式会社中義 一般社団法人ライフサポートはぎちゃ 代表取締役

私は、NPO 釜ヶ崎支援機構の職員として従事させていただきました 17 年ほど前、支援機構内の HESO という機関にて、井戸さん（生前でのお呼びの仕方）たちに、保健師という立場で特別清掃事業に従事されている高齢者の方々の健康管理や公衆衛生の指導などを行っていただいております。結核とはなんぞや？という私は、興味本位で HESO の事務所に行き、結核のことや感染症のことを勉強させていただきました。それとは別にあまりパソコンには得意ではなかった井戸さんからパソコンの設定や修理、ホームページ等の依頼で逆に私が教えていたりし、公私ともに仲良くさせていただきました。

井戸さんの結核に対する熱心な働きは、私も同じく志を共にできないかと微力ながら精力的に検診などに奮闘させていただきました。あいりん地域の結核はあまりにも地域の公衆衛生の悪さに蔓延せざるを得ない状況だとわかっていても、少しでも安全に暮らせる町や国を目指されていた、井戸さんのお気持ちを食事の席にてお話ししてくださいました。のちに SDG s が近く広まることにとても興味を持たれ、私もとても関心を持って話し合ったことを今でも思い出します。

私も今はいくつかの会社を経営する経営者として浪速区、西成区や大阪市内を中心とした福祉や様々な業態にて奮闘させてもらっています。起業したての頃は、井戸さんにも相談に乗っていただいたことも思い出しました。

とても笑顔が素敵で満面の笑みで迎えてくださり、とても丁寧な話し方で誰も傷つけないお人柄を私はとても大好きで、常に井戸さんの味方になりたいと思いました。

長い間、目には見えないものと戦ってこられた井戸さんですが、その思いは今のあいりんの町では勝ったということになるであろう状況になっていますよ。一生懸命に御尽力なされたお身体を、今はゆっくりとお休みになっていただければと思います。

改めて井戸さんが教えてくださったことに感謝しています。ありがとうございました。



←禁酒の館の利用者を対象とした
2019 年結核認識調査の案内ポスター

作成：大阪公衆衛生協会

認定 NPO 法人釜ヶ崎支援機構
西成区保健福祉センター



あいりん臨時夜間緊急避難所(シェルター)利用券配布の行列（あいりん総合センター前で 2010 年当時）
 野宿を余儀なくされる労働者に毎日 1,040 人分の寝場所を提供。大阪市からの委託事業



2000 年に設置、定員 600 人



2004 年に設置、定員 440 人



←シェルターの2段ベッド

（引用：認定 NPO 法人 釜ヶ崎支援機構ホームページ <https://www.npokama.org/summary/shelter/shelter.html>）